

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F140210110625	設置等組織名	国際文理学部（環境理学科（仮称）、生活情報工学科（仮称））
大学名	福岡女子大学	設置区分	公立		
学校種	大学	都道府県	福岡	事業計画名	福岡女子大学国際文理学部環境理工学科（仮称）・生活情報工学科（仮称）設置計画

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和6年度	1-① 採択後～2025年3月 各学科におけるディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを確定 1-② 採択後～2026年3月 高校訪問等による広報活動とともにSSHの指定高等学校との連携協定を結ぶ 1-③ 採択後～2026年3月 小中高生向け理系人材育成プログラムの調整・準備及び実施 1-④ 2025年1月～2026年3月 各学科におけるカリキュラムの編成・確定 ・カリキュラム編成に伴う履修規程等の諸規程の整備 ・カリキュラム編成に伴う採用人事の計画	1-① 2025年2月 各学科におけるディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを確定 1-② 2024年11月、2025年3月 高校訪問等による広報活動とともにSSHの指定高等学校との連携協定を結ぶ 1-③ 2024年6月～8月 小中高生向け理系人材育成プログラムの調整・準備及び実施 1-④ 各学科におけるカリキュラムの編成・確定 ・2025年2月 カリキュラム編成に伴う採用人事の計画 1-④ 2025年3月31日承認 大学・高専成長分野転換支援基金助成金計画変更承認申請書の提出 【改組内容】 2024年 国際文理学部社会情報工学科について、名称を生活情報工学科に変更して検討中。 2024年 国際文理学部環境理学科について、名称を環境理工学科、学位分野を理学関係から工学関係に変更して検討中。	令和6年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
令和7年度	1-② 2025年から継続 高校訪問等による広報活動 1-③ 2025年から継続 小中高生向け理系人材育成プログラムの実施 1-④ 2025年1月～2026年3月 各学科におけるカリキュラムの編成・確定 ・カリキュラム編成に伴う履修規程等の諸規程の整備 ・カリキュラム編成に伴う採用人事の計画 1-⑤ 2025年4月～2026年3月 企業や自治体、他大学との連携に関する調整及び準備 1-⑥ 2025年4月～2025年10月 入試制度の検討 ・アドミッション・ポリシーに基づく各種入試制度及び編入学試験実施の検討 1後-④ 2026年1月～2027年3月 新設科目担当教員の公募	1-② 2025年6月～10月 高校訪問等による広報活動 1-② 2025年10月、2026年2月 SSHの指定高等学校やDX推進校との連携協定を結んだ 1-③ 2025年6月、8月、12月、2026年3月 小中高生向け理系人材育成プログラムの実施 1-④ 2025年9月～2026年1月 各学科におけるカリキュラムの編成・確定 ・カリキュラム編成に伴う履修規程等の諸規程の整備 ・カリキュラム編成に伴う採用人事の計画 1-⑤ 2025年5月 企業や自治体、他大学との連携に関する調整及び準備 1-⑥ 2026年1月、2026年3月 入試制度の検討 ・アドミッション・ポリシーに基づく各種入試制度及び編入学試験実施の検討 1後-④ 2025年9月～2026年1月 新設科目担当教員の公募 【改組内容】 2025年 国際文理学部社会情報工学科について、名称を生活情報工学科に変更（R7.9.24承認） 2025年 国際文理学部環境理学科について、名称を環境理工学科、学位分野を理学関係から工学関係に変更（R7.9.24承認） 2025年12月～ 国際文理学部生活情報工学科について、名称を生活情報科学科、学位分野を工学から理学×家政学関係に変更して検討中。 2025年12月～ 国際文理学部環境理工学科について、名称を環境理学科、学位分野工学からを理学関係に変更して検討中。	令和7年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
令和8年度	1後-② 2025年から継続 高校訪問等による広報活動 1後-③ 2025年から継続 小中高生向け理系人材育成プログラムの実施 1後-⑦ 2026年4月～6月 新学科のホームページの作成及び開設 1後-⑧ 2026年10月頃 キックオフシンポジウムの開催 1後-⑨ 2026年12月～2027年3月 入学者選抜の実施 ・学校推薦型選抜 / 一般選抜 / 総合型選抜（AO入試） / 外国人留学生選抜 / 帰国生・社会人特別選抜 1後-⑩ 2026年10月～2027年3月 新学科の内部質保証体制の検討及び整備 1後-⑪ 2026年1月～2027年3月 新設科目担当教員の公募 1後-⑫ 2026年4月～2026年9月 新学科設置に伴う学則変更 環境理学科と社会情報工学科の開設に伴い、以下の取り組みを行う。 2-① 2026年4月～2027年3月 新学科の設備・備品の整備		令和8年度自己評価	リストから選択してください。
令和9年度	2後-① 2026年から継続 新学科の設備・備品の整備 3-① 2027年4月 2学科の開設 ・新規科目を担当する教員の採用 3-② 2027年4月～2031年3月 高校訪問等による広報活動 3-③ 2027年4月～2031年3月 新学科の内部質保証の実施 3-④ 2027年6月～2031年3月 小中高生向け理系人材育成プログラムの実施 3-⑤ 2027年4月～2031年3月 企業や自治体、他大学との連携による授業を含む各種プログラムの実施 3-⑦ 2027年4月～2031年3月 新学科のホームページの更新		令和9年度自己評価	リストから選択してください。

令和10年度	2後-① 2026年から継続 新学科の設備・備品の整備 3-② 2027年4月～2031年3月 高校訪問等による広報活動 3-③ 2027年4月～2031年3月 新学科の内部質保証の実施 3-④ 2027年6月～2031年3月 小中高生向け理系人材育成プログラムの実施 3-⑤ 2027年4月～2031年3月 企業や自治体、他大学との連携による授業を含む各種プログラムの実施 3-⑥ 2028年10月頃 編入学試験の実施 3-⑦ 2027年4月～2031年3月 新学科のホームページの更新		令和10年度自己評価	リストから選択してください。
令和11年度	2後-① 2026年から継続 新学科の設備・備品の整備 3-② 2027年4月～2031年3月 高校訪問等による広報活動 3-③ 2027年4月～2031年3月 新学科の内部質保証の実施 3-④ 2027年6月～2031年3月 小中高生向け理系人材育成プログラムの実施 3-⑤ 2027年4月～2031年3月 企業や自治体、他大学との連携による授業を含む各種プログラムの実施 3-⑥ 2028年10月頃 編入学試験の実施 3-⑦ 2027年4月～2031年3月 新学科のホームページの更新		令和11年度自己評価	リストから選択してください。
令和12年度	2後-① 2026年から継続 新学科の設備・備品の整備 3-② 2027年4月～2031年3月 高校訪問等による広報活動 3-③ 2027年4月～2031年3月 新学科の内部質保証の実施 3-④ 2027年6月～2031年3月 小中高生向け理系人材育成プログラムの実施 3-⑤ 2027年4月～2031年3月 企業や自治体、他大学との連携による授業を含む各種プログラムの実施 3-⑦ 2027年4月～2031年3月 新学科のホームページの更新		令和12年度自己評価	リストから選択してください。
認可申請 又は届出	2026年12月 国際文理学部環境理学科・社会情報工学科の設置届出予定、収容定員変更の届出予定、学則変更の届出予定	2026年 4 月 国際文理学部環境理学科・生活情報科学科の学則変更の届出 ・公立大学の学科の設置（学位の分野が既存の理学分野を含む）であり、収容定員の変更はないため、学則変更の届出のみの手続きとなった。）		
定員減又は 学部等の廃止	2026年12月 国際文理学部環境科学科募集停止に係る報告予定（入学定員70名、理学分野） 2027年度 国際文理学部環境科学科学生募集停止の予定（同上）	2026年 4 月 国際文理学部環境科学科学生募集停止に係る報告（入学定員70名、理学分野） 2027年度 国際文理学部環境科学科学生募集停止の予定（同上）		

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	福岡女子大学
-------------	-------	-----	--------

2.申請資格の確認

- i) 学生募集停止中の大学
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	i)	ii)	iii)	iv)	v)
すべての項目に該当していない					

3.申請要件の取組状況

- ① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。
- ② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。
- ③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。
- ④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。
- ⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。
- ⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。
- ⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。
- ⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。
- ⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。
- ⑨ 事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）
- ⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。
- ⑪ フェーズ3の助成期間終了時まで、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。
- ⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。
- ⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。
- ⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、 令和7年度 の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	福岡女子大学
-------------	-------	-----	--------

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- ☒ チェックa.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- ☒ チェックb.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- ☒ チェックc.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
【a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施】 ＜2学科共通＞ ・企業との連携教育プログラムの構築（既存の取組）：学外講師として授業を担当、企業での就業体験、共同研究を通じた研究力向上、PBL ・福岡商工会議所及び九州経済連合会との連携（計画中）：専門科目の実践演習ならびにインターンシップの実施 ＜社会情報工学科＞ ・現場のIT関連エンジニアを招いてのゲスト講義の実施（既存の取組） ・企業から提供された実データに基づくデータ分析によるPBLの実施（既存の取組） 【b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施】 ＜環境理学科＞ ・九州産業大学との連携授業（既存の取組）：福岡を中心とした九州の環境に関するテーマ ・福岡県の複数の大学との連携授業（計画中）：福岡県が推進するワンヘルスに関するテーマ 【c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携】 ＜環境理学科＞ ・DAVISプログラム（カリフォルニア大学デビス校での体験学習）の拡充（既存の取組）	【a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施】 ＜2学科共通＞ ・県内企業とグリーン関連分野について連携協定を締結（2025年5月） ・今後の連携に向けて学内での検討を行った。 ＜生活情報工学科＞ ・FOLK株式会社から提供を受けた医療用ユニフォームのデザイン画を基に色や和柄の展開を行い、患者の視点から求められる色や柄について調査・分析を行った（2025年度の卒業研究）/チャリチャリ株式会社からシェアサイクルの利用実態に関する実データの提供を受け、シェアサイクルの移動需要・要因の分析をテーマとする卒業研究を実施した（2025年度）/日本テクノ株式会社と幼児施設におけるスマートクロックを活用した省エネ教育プログラムの開発および評価（2025年度の卒業研究）/株式会社ほけもんおよび防府市青少年科学館との連携に基づく資源回収行動を促す仕掛けの効果検証（2025年度の卒業研究）/セイハネットワーク・ロボ団との連携に基づくプログラミングロボットを活用した環境教育プログラムの開発および評価（2025年度の卒業研究）/株式会社シティアスコムと連携したPBL（講義科目：経営戦略とビジネスデザイン）の実施（2025年9月～11月） 【b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施】 ＜環境理学科＞ ・「九州の経済・経営について考える」をテーマに2025年8月に実施。106名の学生（福岡女子大学55名、九州産業大学51名） ・ワンヘルス入門を開講し、2025年9月より、福岡県内の複数の大学と連携授業を行った。（計7回） 【c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携】 ＜環境理学科＞ ・令和7年度は食・健康学科にてDAVISプログラムの実施を行ったため、環境理学科での実施は無かった。	【c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携】 ＜環境理学科＞ ・令和7年度は食・健康学科にてDAVISプログラムの実施を行った。令和8年度は、環境理工学科で実施予定。

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- ☐ チェックa.入学者選抜における科目の見直し
- ☒ チェックb.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- ☒ チェックc.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- ☒ チェックd.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキングへの対応）
- ☒ チェックe.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
【b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組】＜2学科共通＞ ・高校訪問や説明会等による広報活動を積極的に行う。 ・高校や高等専門学校等との協定を拡充する。 【c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）】＜2学科共通＞ ・小中高生向け理系人材育成プログラムとして、小学校の女子児童向けに実験教室等を、中学校の女子生徒向けにサマースクール、研究室体験プログラム等を実施する。 【d. 社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキングへの対応）】＜2学科共通＞ ・本学が実施している社会人を対象としたリカレントプログラムである「イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム」及び公開講座において、GXやDXに関連する講義を提供する。 【e. 留学生の受入れ強化に向けた取組】＜2学科共通＞ ・現在実施している海外との協定校入試（ベトナム、タイ、マレーシアの交流協定校からの特別選抜）の受験生募集において新設2学科の広報活動を積極的に行う。 ・国内外の日本語学校への訪問、留学フェア等での広報活動、海外の高校生を招聘する教育プログラムを実施する。	【b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組】＜2学科共通＞ ・2025年8月に2回実施した「夏のオープンキャンパス」、2026年3月に実施した「春のキャンパス見学＆相談会」にて、PR用のリーフレットを配布し、新学科設置に関する全体説明及び個別説明を行った。 ・また、6月～10月の期間を中心に、高等学校を訪問し、新学科のPR及びニーズ調査依頼を行った。オープンキャンパスやニーズ調査の結果等を踏まえ、学科名称と学位分野の変更の検討を行った。 ・2025年10月には、SSHの指定高等学校の長崎県立長崎南高等学校、2026年2月にはDX推進校の福岡県立伝習館高等学校と高大連携協定を結んだ。 【c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）】＜2学科共通＞ ・環境科学研究講座（香住丘高校生）（2025年6月） ・研究室体験プログラム（香住丘・城南高校生）（2025年8月） ・城南高校課題研究中間発表会（2025年12月） ・城南高校先端技術体験講座（2026年3月） ・古賀中学校生徒を対象とした模擬講義（2025年7月） ・志免東中学校生徒を対象とした模擬講義（2025年7月） ・福岡女子高校進路担当者との面談及び在学生への新学科の説明（2025年10月） ・福岡女子高校の全国高校生フォーラムにおける発表の研究協力（2025年10月～12月） 【d. 社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキングへの対応）】＜2学科共通＞ ・年間を通して、生涯学習カレッジ及び公開講座の実施。 ・女性トップリーダー育成研修の実施。（2025年11月13日～15日、2026年1月31日） ・アドバンスプログラムの実施。（2025年10月16日、18日、25日、11月6日） ・福岡キャリア・カフェ（福岡県委託事業）の実施。（2025年4月～2026年3月 合計 56回 開催） 【e. 留学生の受入れ強化に向けた取組】＜2学科共通＞ ・マレーシアの交流協定校である帝京マレーシア日本語学院の教員に対して、オンライン説明会（新学科PR）を行った。（2025年7月） ・新学科PRに伴う日本博覧会（韓国）への参加及び釜山市内日本語教育機関訪問を行った。（2026年2月） ・国内、国外（韓国）の日本語教育機関の訪問を行った。（2025年8月、9月）	

大学名	福岡女子大学
-----	--------

1.本事業対象となる学部等の状況

＜合計＞

[illegible]

1.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

大学名	福岡女子大学
-----	--------

(2)

改組内容	既存学部における学科の新設
学部学科名	国際文理工学部生活情報工学科（仮称）（工学関係）

[illegible]

大学名	福岡女子大学
-----	--------

2.理・工・農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

[illegible]

大学名	福岡女子大学
-----	--------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	240	240	240																
		入学者数	人	249	246	239																
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	0	0																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	240	240	240																
		入学者数(B)	人	249	246	239																
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.04	1.03	1.00																
	収容定員等	収容定員(C)	人	960	960	960																
		編入学定員	人	-	-	-																
		在籍者数(D)	人	1025	1037	1024																
		編入学者数	人	-	-	-																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.07	1.08	1.07																

4.外部資金の状況（全学）

年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況			申請－5年	申請－4年	申請－3年	申請－2年	申請－1年	申請	選定												
項目		単位																			
外部資金獲得額		千円	60,659	55,611	55,731	46,310	42,766	44,249	43,471	39,310											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間に於ける各年度の外部資金	千円	52,551
本事業による助成金の額(F)	千円	293,650
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	59,892

特記事項

大学（学士課程）の令和6年度及び令和7年度のその他の学期の入学定員「0人」は、国際文理学部国際教養学科の交流協定校推薦型選抜による若干名の受け入れを意味している。
